

道尾秀介展 小説の可能性

MICHIO SHUSUKE Exhibition

— potential of novels —



©タカオカ邦彦

学生時代を町田で過ごした直木賞作家・道尾秀介。当時から既に小説家を目指していた彼が2009年に発表し、第62回推理作家協会賞を受賞した『カラスの親指 - by rule of CROW'S thumb』が11月23日(金・祝)から映画公開されます。監督は伊藤匡史、主人公の中年サギ師・武沢竹夫を阿部寛が、相棒の入川鉄巳をベテラン芸人の村上ショージが演じます。

本展は、従来「映像化は不可能」と言われてきた道尾作品の映画化を記念して開催する「作家・道尾秀介」の個人展です。

デビュー作『背の眼』から最新作『ノエル - a story of stories -』まで、常に「自分が読みたいものを書く」という一貫した創作姿勢から生み出される作品は、家族・友人の間で起こるささいな感情のもつれや、現代社会の歪から派生するさまざまな事件とその背景にある人間像を細やかに描くことで、深い余韻と明日への希望を感じさせます。

「文章でしか描けないものが、この世にはある」と信じ、ひたすらに「小説の可能性」を追求する道尾作品の魅力を、ぜひご堪能ください。

みち おしゅうすけ

道尾秀介(1975-) 小説家

2004年『背の眼』で第5回ホラーサスペンス大賞特別賞を受賞しデビュー。05年に『向日葵の咲かない夏』で注目を集め、07年『シャドウ』で第7回本格ミステリ大賞を受賞。09年『カラスの親指』

で第62回推理作家協会賞、10年『龍神の雨』で第12回大藪春彦賞、『光媒の花』で第23回山本周五郎賞。11年『月と蟹』で第144回直木賞を受賞。ジャンルを問わず多彩な作品を発表し続け、いま最も注目を集める若手作家である。

[関連イベント]

会場は、すべて町田市民文学館です。

オープニングイベント

「～ 耳でたのしむ・道尾秀介の世界 ～」

日時：10月20日(土) 10:00～11:30

朗読：小飯塚貴世江(劇団俳優座所属)

蔵本康文(劇団俳優座所属)

[朗読作品]『鬼の登音』、『光媒の花』より

会場：2階大会議室

定員：70名

申込：不要(先着順)

※イベント終了後、プレゼント抽選会をおこないます。

講演会

「道尾秀介 - ミステリからはじまった進化の軌跡 -」

日時：11月4日(日) 14:00～16:00

講師：杉江松恋(書評家)

会場：2階大会議室

定員：80名

申込：10月11日(木)12:00～

(町田市イベントダイヤル/Tel:042-724-5656)

朗読会

「道尾秀介短編作品 朗読会」

日時：12月9日(日) 14:00～15:30

朗読：小飯塚貴世江(劇団俳優座所属)

蔵本康文(劇団俳優座所属)

会場：2階大会議室

定員：70名

申込：不要(先着順)

ギャラリートーク

日時：10月23日(火)、11月6日(火)、
11月20日(火)、11月24日(土)、
12月1日(土)、12月18日(火)
いずれも14:00～14:45

会場：2階展示室

申込：不要(直接2階展示室にお集まりください)



町田市民文学館ことばらんど

〒194-0013 東京都町田市原町田4-16-17

Tel: 042-739-3420 Fax: 042-739-3421

アクセス：JR横浜線「町田駅」ターミナル口から徒歩8分
小田急線「町田駅」東口から徒歩12分